

日本原子力学会 標準委員会
基盤応用・廃炉技術 放射線遮蔽分科会 遮蔽材料標準作業会
第11回 議事録

1. 日時：2016年4月25日 13:30～17:00

2. 場所：ATOX本社会議室

3. 出席者：(17名：敬称略、順不同)

木村（主査、フジタ）、中田(副主査、MHI-NS-ENG)、奥野（幹事、安藤ハザマ）、坂本(ATOX)、谷口（大成建設）、小迫（清水建設）、天野(CTC)、大石（日環研）、吉田（原安センター）、尾形(MHI)、紺谷(鹿島建設)、高冶（前中代理、竹中工務店）、平尾（海技研）、田中（エネ総研）、月山（日立GE）、坂本（TN）、廣内（東芝）

4. 配布資料：

SMA11-1 議事次第

SMA11-2 材料策定WG議事メモ

SMA11-3 コンクリート中の水分量の設定

SMA11-4 遮蔽性能評価のためのコンクリートの標準的な元素組成の設定について

SMA11-5 コンクリートの化学的結合水および骨材の結晶水について

SMA11-6 元素の中性子の断面積をベースとした重要元素の設定について、定比重による原子個数密度データ

SMA11-7 Spectrum Measurement of Neutron and Gamma-rays from Thick $H_2^{18}O$ Target Bombarded with 18Mev Protons

SMA11-8 水分量（自由水）を加味したコンクリート組成（2016年4月）

SMA11-9 標準コンクリート組成の作成と今後の日程についての素案

SMA11-10 感度解析懸案事項

SMA11-11 感度解析 Gr 打ち合わせ資料（2016.04.25）

SMA11-12 標準化作業計画

5. 議事：

- ・定足数に達している事を確認した。
- ・本作業会の議事録や資料を共有するため、安藤ハザマで用意できるデータサーバーについて仕様を確認する。
- ・外部のコンクリートの有識者の協力を得ることも検討する
- ・今年の秋の年会において、検討状況を2件発表する方向で調整する事となった。
（発表申込：2016年5月23日（月）14:00～6月3日（金）17:00 厳守）
- ・SMA-11-3 について、感度解析に用いる水分量は $0.04\sim 0.1\text{ t/m}^3$ とする。

- SMA-11-7 について、20MeV 以下のサイクロトロンや医療用リニアック等に対する感度解析の計算モデルや計算パラメータについて次回会合で議論する。
- 標準化作業のスケジュールについて、原則 SMA-11-9 記載の日程に基づいて行う事となった。

6. 次回

5月12日(木) 13:30～ 感度解析WG 場所：未定

5月16日の週、もしくは23日の週 材料組成WG 場所：未定

6月7日(火) 13:30～ 遮蔽材料標準作業会 場所：未定